

Nyonyum 24号

By JICA-VOLUNTEER DAISAKU TAKAGI



ありがとう♡スパイリエン！ ありがとう♡カンボジア！

2年間の協力隊活動が、終了しました！最後の1ヵ月も、駆け抜けました。お世話になった方々への感謝の気持ちと共に、協力隊活動のフィナーレを時系列で紹介します。

コンボンチュナン州八木隊員がスパイリエンに

2/26に体育の出前授業(23号で紹介)を受けた子どもたちの感想集を届けてくれました。「楽しかった」「また来て」というコメントに、同僚はにんまり😊



3/1

小中学校挨拶回り in バサック村

お世話になった学校に日本から送って頂いたボールをプレゼント。ボールを用いた授業をお願いされ、子どもたち・先生と最後の時間を過ごしました。



3/2

配属先での最終報告会 & 送別会 part 2

クメール語での発表。2年間、同僚と歩んできた体育の授業の軌跡を振り返り、未来の発展に向けたお願い事を校長先生と先生方に伝えました。



3/3

送別会 part 1 in バサック村



3/4

夜は、送別会。参加者約 60 名。食べ飲み、歌い踊り、最高に楽しい一時でした！！



3/5

日本語教室最終回 & 送別会 part 3



3/6

中高生の教室は 70 回目、専門学校生の教室は 20 回目の授業となりました。最終回は、会話の総復習と書道体験。書道は、生徒と共に教室で育んできた「楽」「愛」「友」「絆」「幸」の文字から一つを選び、ドキドキしながら筆を動かしました。

3/7

小中学校挨拶回り in スパイリエン市



3/8

「授業がうまくなりた。もっと教えてほしいかった」と小学校の先生。「本当に、助けてくれてありがとう！」と、学校事情で体育を教えている元数学の先生。笑顔で送り出してもらいました！

3/9



これまでの頑張りを称え、賞状と日本の記念品をプレゼント。彼らからも、サプライズケーキ(中央の絵はバレーボール)とプレゼントをもらいました！

配属先での最後の授業。指導力に磨きがかかった同僚。体育の授業を楽しみにしている生徒たち。今日も、生徒と先生が共に創る良い授業になりました。



3/9

さようなら👋スバイリエン

配属先での最後のお別れ。体育の先生方には、ネーム入りのポロシャツと体育グッズをプレゼント。生徒たちとは笑顔で熱い抱擁や握手を。

3/10



3/11

プノンペン・丸亀製麺での偶然の出会い



夕食時に飲食店で、バックパッカーの大学生と意気投合し、ビアホールへ。新たなヒトやコトとの出会いの場ともなりうる若者への協力隊活動についての発信は、帰国後の“使命”と再確認。

3/12



お昼は、自宅に生徒がプレゼントを持って来てくれたり、ホームステイ家族とは涙を流しながらの昼食会に📷出発前の記念撮影は笑顔で😊

3/13

JIC 事務所での最終報告会 & 懇親会

2年間の協力隊活動の成果と課題を報告。この3月は、計13名の隊員が帰国。個性溢れる想いの詰まった発表に胸を打たれる。夜は、船上にて懇親会😊



3/14

カンボジア外務省、NGO への表敬訪問

カンボジアの外務省と、NGO「ハート・オブ・ゴールド」への活動報告を兼ねたご挨拶。外務省より、記念品としてクメール料理本を頂きました。



3/15

さようなら👋カンボジア

ホームステイ家族とその妹家族が、空港まで見送りに来てくれました。またまた涙のお別れでした🥲

3/16

成田空港到着



2月に帰国していた隊員が、到着ロビーで、横断幕を持ってのお出迎え!!これで、2年間、共に活動してきた仲間たちとはお別れ。本当にお世話になりました!



たくさんの“愛”と“感謝”に包まれた怒涛の1ヵ月。帰国後、「あなたは、さよならも言わずに行ってしまった」との連絡もあり、別れを言えなかった方々もいるほどでした🥲

協力隊活動を終えて...

まずは健康と安全に、2年間の協力隊活動を終えられたことに、全ての関係者の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。任地スバイリエンはもとより、カンボジアではたくさんの刺激的かつ素敵な出会いがありました。また在任中、日本から、たくさんの方々に活動への励まし・応援の言葉をかけて頂きました。また先人たちが積み上げてきた功績や日本への信頼のもとで協力隊活動ができていることを実感できる場面が何度もありました。多くの支えがあったこそこの協力隊活動でした。本当に、ありがとうございました!

駆け抜けた濃密な2年間。活動として成し得たことは、大きなものではありません。しかし、支援をする側・支援をされる側、あるいは日本人・カンボジア人という立場の違いを超えて、現地に暮らす一人の住民として日々の生活を味わい、またスバイリエン高校の一教員として、先生方と協働して、生徒の成長を願い、それぞれの持ち味を生かして、教育活動を進めていくことができました。本当に心豊かな時間を過ごすことができました。

任期終了という一つの区切りとなりますが、これからも紡いできたカンボジア、スバイリエン、スバイリエン高校との“つながり”は、大切にしたいと思っています。また帰国後の社会還元は、協力隊活動の大きな目的の一つです。今後、未来を担う若者たちに、協力隊活動の体験等について、様々な形で発信していきたいと思っています。